

その他の板ガラス製品

個別

フロート板ガラス

●設計・施工上のご注意

- ご採用にあたっては、耐風圧強度、熱割れなどをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を決定してください。特に、熱割れの発生しやすい条件での使用に関しては、十分に検討する必要があります。
- スパンドレルボードなどがホワイト系の場合、フロート板ガラスの色調が異なって見える場合があります。このような部位へご採用になられる際には、事前にご相談ください。

●使用・メンテナンス上のご注意 (P.13 「ガラスのメンテナンスについて」をご確認ください)

すり板ガラス

●設計・施工上のご注意

- すり面が水に濡れると透明度が増します。
- 汚れが付着すると除去しにくいので、浴室や台所では型板ガラスをご使用ください。

型板ガラス

●設計・施工上のご注意

- 型模様には汚れが付着しやすいので、通常は型面を室内側にご使用ください。
- 型面側に水が付着すると、透けて見える場合がありますのでご注意ください。
- 製造工場により、型柄に多少の違いが発生する場合がありますのでご注意ください。

クロスワイヤー、菱形ワイヤー、ユニワイヤー

●設計・施工上のご注意

- ご採用にあたっては、耐風圧強度、熱割れなどをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を決定してください。特に、熱割れの発生しやすい条件での使用に関しては、十分に検討する必要があります。
- ガラスと性質の異なる網および線材が入っているためガラス切断時に網材・線材が引っ張られガラスエッジに微細なクラックが入り、エッジ強度はフロート板ガラスの約半分(100kgf/cm²)となります。そのため熱割れ、錆割れが発生しやすいため、設計時点での十分な検討が必要です。
- 網材・線材は錆びにくい材料を使用していますが雨水などの浸入により錆びることがあります。この錆が著しく進行すると膨張しガラスエッジに微小なクラックが入り、ガラス端部の強度が低下します。その結果、日射による熱応力などにより破損することがありますのでご注意ください。
- サッシは溝幅が広く、水抜き穴のあるものをお選びください。
- ガラスはできるだけクリアーカットして切口をキズつけないように施工してください。
- 糸面加工などガラス切口の研磨は湿式120番以上の研磨材で仕上げてください。
- 網材・線材にヤケが発生している場合があります。この現象は製造上、高温時に網、線材を挿入するために生じるもので皆無にすることは非常に困難ですのでご了承ください。防火性能、強度への影響はありません。
- 製造工場により、網幅や型柄に多少の違いが発生する場合がありますのでご注意ください。防火性能への影響はありません。

●使用・メンテナンス上のご注意

- 冷暖房の吹き出し空気をガラス面に直接当てたり、ガラスに密着するようなロッカーやパーティションの設置は熱割れの原因になります。
- ガラスの表面にフィルムや紙などを貼ったり、塗料を塗ると熱割れすることがありますのでお避けください。
※フィルムの取り扱いについてはフィルムメーカーへお問い合わせください。
- 室内側ガラスの近くにダンボール箱等、物を置くことはお避けください。一時的な仮置きの場合でも熱割れが生じることがあります。

ハイシル工

●設計・施工上のご注意

- 熱線吸収板ガラスなど日射吸収率の高いガラスや網入・線入板ガラスで構成する場合は使用条件によっては熱割れを生じることがありますので、事前にご相談ください。
- 施工はフロート板ガラスの標準施工法に準じてください。ただし、ワイヤー入りハイシル工の場合は網入・線入板ガラスの標準施工法に準じてください。また、ハイシルエミラーは鏡・壁装ガラスの標準施工に準じてください。

妙

●設計・施工上のご注意

- 製造上、色調の違いが多少生じる場合がありますのでご了承ください。
- 窓にご使用の場合はフィルムパターン面を室内側にしてください。
- 汚れは市販ガラスクリーナー、中性洗剤、アルコールで拭き取ってください。
- フィルムパターン面に油性インクなどが付着した場合、汚れが落ちないことがありますのでご注意ください。
- フィルムパターン面を刃物など固いものでキズつけないようご注意ください。
- フィルムパターン面は色褪せなど経年変化により劣化することがありますのでご了承ください。

真空ガラス

複層ガラス

防耐火ガラス

防災・防犯ガラス

強化・倍強度ガラス

合わせガラス

特殊機能ガラス

熱吸・熱線反射ガラス

板ガラス

装飾ガラス

鏡・ライガラス

板ガラス製品及び施工法

設計・施工・使用上のご注意

板ガラスの光学的性能・熱的性能

製品一覧